

桂坂山の手倶楽部だより

(第3号)



平成19年2月1日発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会

役員会だより



第3回役員会 (11/25)

- (1) 第13回作品展概要報告と反省を行い、次年度に生かすことにしました。
 概要 ・出展数 書：48点、俳句：29点、写真：16点、絵：14点、手・工芸：18点、園芸：多数、特別：2点
 ・来客人数 会 員：107名
 会員以外： 87名 (記名者のみ)
 ・会計報告 58,500円
- (2) 新年互礼会の開催要領について、実行委員会で起案された内容について検討しました。
- (3) 単位倶楽部間の会員数の差の拡大並びに役員改選難等に関する問題について検討しました。
 現在の各単倶楽部の会員数は、第1倶楽部：52名、第2倶楽部：60名、第3倶楽部：49名、4倶楽部：69名とかなり差が出てきています。更に、第1と第3倶楽部は高齢化が進んで来ていて役員選出が難しいと言う問題も顕在化してきています。
 これらの問題を解決する手段として単位倶楽部の再編成をする案について検討しましたが、結論は得られず次年度の課題とすることになりました。それに代わり役員選出難対策として、「次期役員、地域委員、同好会委員選出に関する役員会覚書」第3条を以下のように改訂し、役員選出が難しい場合単位倶楽部から選出する役員数を1名減らせることを明記しました。

現 行	改 訂 後
第3条 各単位倶楽部は、役員改選前の2月末日迄にそれぞれ単位倶楽部会長を含む概ね5名の役員候補を選出し委員会に届け出る。	第3条 各単位倶楽部は、役員改選前の2月末日迄にそれぞれ単位倶楽部会長を含む4～5名の役員候補を選出し委員会に届け出る。

- (4) その他として、高齢会員の懇親会や新しい同好会の起案等について話し合い、次年度の課題とすることになりました。

同好会だより



1. 各同好会の忘年会、新年会開催状況

年末年始にかけて行われた各同好会の懇親会の概要を分かる範囲で纏めてみました。同好会会員以外の皆様もこれらを参考に楽しい同好会活動に参加されますようお願い致します。

同好会名	区分	月日	会場	参加人数
園芸	忘年会	12月10日	つばき自治会館	20名余り
歩こう会	〃	12月3日	日文研「赤おに」	15名余り
書道	新年茶話会	1月5日	ふれあい会館	20名程度
コーラス	新年会	1月11日	嵐山「嵐月」	35名程度
俳句	新年昼食会	1月27日	ふれあい会館	10名程度
囲碁将棋	忘年昼食会	12月18日	〃	〃
写真	〃	12月16日	〃	15名程度
グラウンド・ゴルフ	新年昼食会	1月15日	〃	30名余り
ボウリング	忘年昼食会	12月21日	エミナース	15名程度
社交ダンス	忘年パーティ	12月17日	ふれあい会館	30名余り

2. 絵画同好会（仮称）準備会の参加者募集

一筆画同好会が解散になって絵の好きな方の集まりがなくなっていました。この度絵画を指導して頂ける方が見付かりましたのでご案内致します。正式な同好会発足の前に取りあえず準備会を企画致しますので、参加希望者は事務局までご連絡下さい。予定同好会の概要と準備会申し込み方法は以下の通りです。同好会の会員になるかどうかは準備会に参加して頂いた上で決めて頂いて結構です。

絵画同好会の概要（細部は準備会で検討予定）

講師 園章さん（当倶楽部会員で「けやき自治会」所属、京都市内の絵画教室で指導中）
 内容 水彩画中心であるが、希望によりその他の絵も対応可能
 難しい事を言わず、出来るだけ会員の皆さんの希望に沿いたいとの事ですので、皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

練習日 月2回程度（火曜日）

場所 ふれあい会館或いは中央信用金庫2階

準備会（3月実施予定）参加の申し込み方法

申込方法 氏名、所属自治会名、希望する絵の種類等をメモ書きし、申込先まで届け出る。

申込先 事務局（八木兵司）宛、
 ファクシミリ（075-332-5881）、Eメール（hyouyagi@ybb.ne.jp）或いは地域委員、
 単位倶楽部会長を通じてでも可

締切 2月16日（火）

市・区老連だより

1. 文化委員会

(1) 文化芸能祭開催 文化委員 佐久間佳寿子さん記

昨年11月11日ウエスティに於いて西京区老連主催の文化芸能祭が開催されました。平成18年は西京区30周年記念の年に当たり、祝賀記念事業の一環として例年より拡大した企画を文化委員会として準備して参りました。

当日、山の手倶楽部コーラス同好会のメンバーが平均年齢？歳とは思えない若々しい声とステージ衣装も晴れやかに「君を乗せて」と「アヴェマリア」を蔵田先生の指揮のもと、日頃の練習の成果を3部合唱の美しいハーモニーで発表されました。また、初めての催しとして「のど自慢」もあり、当倶楽部から鹿取珠江さんが演歌「みだれ髪」を美しい高音でしみじみと歌い上げられました。川上英子さんもシャンソンを専属のピアニストと息の合った演奏で「ジジ・ラ・モローソ」の曲を素晴らしい歌声と演技力でドラマチックに舞台を繰り広げられました。



桂坂のコーラスは前評判も良く、「トリ」で出演され、最後に「旅愁」と「今日の日はさようなら」をペンライトの揺れる場内の観客と共に熱唱し、楽しい芸能祭の幕は下ろされました。
出演者並びにご声援下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。

(2) 健康展・福祉展・作品展開催

文化委員 佐久間佳寿子さん記

1月25日～26日市老連主催の表題の催しが、例年通り京都市勲業館みやこめっせに於いて開催されました。当倶楽部から書、俳句、写真、手工芸作品等21点が出展され、高い評価を受けていました。出展にご協力頂きました会員の皆様どうもありがとうございました。

2. 福利厚生委員会 (下部温泉一泊二日の旅実施)

福利厚生委員 細谷修三さん記

11月17日～18日にバス3台で、武田信玄の隠し湯で有名な下部温泉と三保の松原、日本平方面へ出かけました。区老連全体で111名、内当倶楽部からは11名の会員が参加しました。

3. 体育委員会 (第1回区老連ボウリング大会開催)

ボウリング同好会

12月14日(木)エミナースボウルに於いて表題の会が開催され、当倶楽部からも11名(全体で80名)の会員が参加しました。定刻、中川区老連会長の始球式で熱戦の幕開け。多くの方が久しぶりのボールの感触、中には30年ぶりという方も・・・全くの初挑戦の方も含めて心配された怪我もなく、和気藹々、互いの声援、拍手の中に2ゲーム終了。

終わってみれば、私たち桂坂山の手倶楽部会員がベストテン中6人を独占、はからずも同好会活動の成果を披露した形になりました。特に、優勝の高木紀子さん、2位の杉野悦子さん、3位・ハイゲーム賞の岡村英明さんの活躍が印象的で、次回の参加意欲を大いに盛り上げられたと思います。

4. 広報委員会

広報委員 米倉英彦さん記

区老連広報誌第56号へ、短歌1名、俳句10名の会員皆様から投稿を頂きました。ご投稿ありがとうございました。

5. ダンスパーティー開催のお知らせ

ダンス同好会責任者 岡 頼男さん記

3月1日(木)13時よりウエスティに於いて区老連主催のダンスパーティーが開催されます。会費は無料ですので、同好会員は勿論初めて習ってみたい方もご自由にご参加下さい。

その他のお知らせ

1. 新年互礼会開催

互礼会担当 西澤四郎さん記

1月7日(日)、当日は朝からの吹雪。9時過ぎからは、会場のふれあい会館で女性役員の準備作業。追っ付け、会長、副会長が集まり窓外の景色を見ながら心配顔。そんな悪天候にもかかわらず、例年になく92名と大勢の会員の皆さん方の出席を得て今年の新年互礼会が開催されました。

互礼会は、謡曲同好会の皆さんが小謡御題「月」、次にコーラス同好会の皆さんの「君を乗せて」、「アベマリア」の歌で始まり、後は参加者全員で童謡を歌ったりゲームをしたりして楽しいひと時を過ごしました。



足元の悪い中ご参加頂きありがとうございました。お手伝いをして頂いた皆さんにもお礼を申し上げます。次回の役員会で今回の互礼会の反省を行い、また皆さんのご意見も伺いながら、来年はより充実した会にしたいと思っています。

補 足：参加者 95名(当日3名欠席)

会計報告 収入；190,000円、倶楽部より補填；59,500円、支出；249,500円

2. 子供見守り隊活動への取り組み

子供見守り隊長 青山正男さん記

1月15日(月)～19日(金)の5日間、午前8時～8時30分の間、PTA、女性会と共に当倶楽部の会員が交替で桂坂小学校校門前で登校してくる小学生に声をかける活動を行いました。これは昨年より取り組んでいる表題の活動の一環として行ったものです。今年も昨年に引き続いて、小学生の下校時に合わせて散歩をする等、小学生の安全確保運動への取り組みをよろしくお願い致します。

3. 講習会「高齢者やすらぎトーク」開催

会長 岡 頼男さん記

1月20日、ふれあい会館に於いて自治連安全推進委員会の下、地域女性会、社協、山の手倶楽部共催で表題の会が開催されました。「高齢者の栄養について」「やさしい筋トレ」「お笑いタイム」と言った内容で、非常に分かりやすい役に立つ話がありました。当倶楽部からも多くの会員の皆さんが参加され有意義なひと時を過ごしました。

これからも、私達に役に立つテーマでこのような講習会を企画致しますので、積極的にご参加下さいますようお願い致します。

会員投稿欄

『ボケないように』 第2倶楽部 乗本政三さん投稿



最近シニアマージャン熱が盛んである。指の運動と頭の体操になりボケ防止に役に立つからだと言う。

私も月2回昔の仲間の例会があり、又別に家内共々友人家族と月1回各家庭持ち回りでマージャンを楽しんでいる。しかし今や台は電動式、牌は自動で並べられ、ただ放るだけで果たして指の運動になるのだろうか。頭の体操と言ってもマージャンは運が7分、いたずらに頭を使うと返って満貫を放り込んでしまう。となると、ボケ防止も怪しい。それでもいろいろな変化に結構楽しんでいる今日この頃である。

ボケ防止にはやはり頭を使い、体を動かすことが肝心だと思う。パソコン大いに結構、読書大いに結構、手紙を書く大いに結構、考えればいくらでも頭を使うことはある。その中でもパソコン、これは絶対にボケ防止に役立つ。

私も70歳を過ぎてパソコンを始め指の運動によし、マージャンのように勘では動いてくれないので、頭をいやでも使う、ボケている閑がない。

あとあまりない残された人生、ボケないようにシニアのスポーツ、パソコン、マージャンに頑張っていきたいと思っている。

追 記：山の手倶楽部でマージャン同好会を発足出来ればと考えています。初めての方も参加出来るコースも作りたいと思っています。

次回は、5月1日発行の予定です。下記の編集委員へ投稿をお願い致します。

第1倶楽部 米倉 英彦 (☎332-7836)

第2倶楽部 乗本 政三 (☎332-7277)

第3倶楽部 松本 昭子 (☎331-6641)

第4倶楽部 辻 タカ枝 (☎331-2298)

事務局：細谷 修三、八木 兵司